

射水市立歌の森小学校活動報告

◆活動取組の紹介

毎月10日のアルミ缶回収

ボランティア委員会では、アルミ缶回収を長年続けている。今年度も毎月10日をアルミ缶回収の日として、登校後の朝に回収活動を行った。前日に校内放送で、アルミ缶回収を呼びかけることで、全校児童に周知することができた。回収に協力してくれた児童には、「ありがとう」とお礼を言いながら、シールを渡し、校章が書かれた台紙に貼ってもらった。



＜アルミ缶回収の様子＞

ちょこボラ週間

ちょこっとしたボランティア（ちょこボラ）を積極的に行う5日間を「ちょこボラ週間」として設定した。ボランティア委員会の児童が「気軽にできるボランティアを行おう」と呼びかけ、全校で取り組む活動として、数年間継続している。1日1回ちょこボラを行ったら、委員会が作成した台紙にシールを1枚ずつ貼り、色付けをしていく活動である。学期に1回ずつ行った。3学期は「ちょこボラをして、きれいな雪の結晶を完成させよう」と銘打って、活動を展開した。学級の雪の結晶が次第に完成していくことで、自分たちの行動の結果が色に表れ、達成感を味わうことができた。また、ちょこボラ週間終了後に、各学級の台紙を全校児童が目にする掲示板に貼ることで、温かな一体感を味わうことができた。

全校児童集会での発表

2学期に行われた全校児童集会の中で、ボランティア委員会は、クイズを交えながら、アルミ缶回収の目的やちょこボラの内容を発表した。全校児童がクイズを通して楽しくボランティア活動について学ぶことができた。この集会の後に行ったアルミ缶回収では、いつもより多くのアルミ缶が集まり、ボランティア意識の高まりを感じた。



＜集会での発表の様子＞

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

- ・やりがいを感じたことはアルミ缶回収です。ぼくたちの集めたアルミ缶がお年寄りのリハビリに使われると知って、多くの人の役に立っていてうれしいです。
- ・ちょこボラの放送をした後に、たくさんの方がちょこボラをしてくれていたのがうれしかったです。台紙にきれいにはられたシールを見て、呼びかけてよかったと思いました。ぼくもちょこボラを続けていきたいと思いました。

◆最後にひとこと

ボランティア委員会の児童はもちろん、全校児童のボランティアへの意識の高まりを感じた。ちょこボラのように小さなボランティアを積み重ね、今後も温かい歌の森小学校になっていくよう、取組を続けていきたい。